

平成28年度指定管理者適用施設 モニタリング評価調書

No. 88  
ID 603203

【施設状況】

グループ名称	長沼公民館								
指定管理者名	長沼地区住民自治協議会					法人番号	2700150020808		
所管課	主	603200	家庭・地域学びの課	副					
構成施設	3389	長沼公民館							
施設分類	01	企画型		施設利用者圏域	01	地域施設	利用制適用区分	03	一部利用料金制
施設概要	会議室（和室大・1室）、会議室（和室小・1室）、会議室（大・1室）、会議室（小・1室）、会議室（ホール・1室）、調理室（1室）								
施設設置目的	公民館は、市町村その他一定区域内の住民のために、実際生活に即する教育、学術及び文化に関する各種の事業を行い、もって住民の教養の向上、健康の増進、情操の純化を図り、生活文化の振興、社会福祉の増進に寄与することを目的とする。								
基本方針等	利用者の安全を十分に確保することを最優先の上、施設の全てを清潔に保ち、かつその機能を正常に保持するとともに、次年度以降の運営を視野に入れて、適正な維持管理と必要に応じた保守点検を行う。設置目的の理念に基づいた運営を行う。公の施設であるということを念頭において、公平、公正な運営を行う。								
主な実施事業	定期講座を開催すること。討論会、講習会、講演会、実習会、展示会等を開催すること。図書、記録、模型、資料等を備え、その利用を図ること。体育、レクリエーション等に関する集会を開催すること。各種の団体、機関等の連絡を図ること。その施設を住民の集会その他の公共的利用に供すること。貸館に関すること。								

【項目評価基準表】

評価	評価基準
5 (優れている)	協定、実施計画に基づく管理運営や事業の実施が期待以上で、指定管理者のノウハウや努力等によるところが特に大きい
4 (良い)	協定、実施計画に基づく管理運営や事業の実施が期待以上
3 (普通)	協定、計画が予定どおり実施された
2 (劣る)	<ul style="list-style-type: none"> <li>協定、計画の一部が予定どおり実施されない</li> <li>管理運営の一部において、市の指導が必要</li> </ul>
1 (悪い)	<ul style="list-style-type: none"> <li>協定、計画が全て実施されない</li> <li>管理運営の全てにおいて、市の指導が必要</li> <li>市の指導を受けてもなお、全く改善が図られない</li> </ul>

【評価項目】

1 指定管理者の健全性

指定管理者名	長沼地区住民自治協議会			指定回数	1 回	
指定期間	平成26年4月1日	～	平成29年3月31日	3年	管理運営開始日	平成26年4月1日
指定管理者の健全性	施設の設置目的や市が示した基本方針、また、自ら提案した内容に沿った管理運営であったか。また、団体の財務状況や組織体制は、管理運営実績のある他施設での管理運営状況も踏まえ、良好で、健全か。					評価
	特記事項 (問題等があった場合に、その内容等を記入)					3

施設利用状況 (利用者数、件数、稼働率など)	利用区分等	単位	H25	H26	H27	H28	対前年比	評価
	長沼公民館 利用者数	人	11,622	11,500	11,927	11,697	98%	
	長沼公民館 利用率	%	13.0	13.0	13.1	12.1	92%	
							#DIV/0!	
							#DIV/0!	
							#DIV/0!	
							#DIV/0!	
(特記事項)								
事業実施内容	区分	協定内容・指定管理者提案		追加事業、未実施事業及び未実施の理由				
	市指定事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・長沼公民館の利用の許可に関する業務</li> <li>・社会教育法第22条に規定する事業の実施に関する業務</li> <li>・長沼公民館の施設及び設備の維持管理に関する業務</li> <li>・公民館の利用の許可、不許可及び取り消しに関する業務</li> <li>・施設、付帯設備及び物品の維持管理に関する業務</li> </ul>						
	自主事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学社連携事業（俳句投句募集・きり絵教室・子ども歴史ロマン講座・読み聞かせ等）</li> <li>・自主企画提案制度（太鼓ピクス・創作きり絵・実用書道等）</li> <li>・出前講座事業（和太鼓・けん玉教室等）</li> <li>・地元企業連携事業（親子食育教室等）</li> <li>・まちづくり事業（リーダー交流・ろばた懇談会・企画展等）</li> </ul>						
サービス維持・向上の取組み（広報等）	瓦版ながめま（ミニ広報紙）の全戸配布、熱心ワーク応援団（人材バンク）・ろばた懇談会（私的諮問機関）の設置による地域ニーズの把握・反映等、また、メディア露出として（パブリシティ）、長沼公民館の活動が、新聞92回、テレビ・ラジオ11回、雑誌等3回の計106回掲載・放送され、公民館のPR、利用者増につながっている。							

4

3 利用者評価

区分	内容	評価
利用者要望把握	(1) 利用者要望把握方法 利用者アンケート	
	(2) 調査、会議等の内容 利用者アンケートを受講者に配布し、141人から回収した。188人のうち141人から回答を得た。回収率は75%。	
利用者からの評価・苦情等	(3) 調査、会議等の結果 調査項目： ①歴史ロマン探訪の旅「上田城・城攻め」 ②キッズお菓子教室 ③笹ずしに挑戦！ ④けん玉楽習会「児童センター母親クラブ」 ⑤歴史ロマン探訪の旅「二本松城・城攻め」 ⑥歴史ロマン講座「真田氏物語」 ⑦歴史ロマン探訪の旅「小諸城・城攻め」 ⑧歴史ロマン探訪の旅「信濃国城攻め」 ⑨スイーツ楽習会 ⑩すこやか子育て教室	良い84%、まあ良い16% 良い100% 良い82%、まあ良い18% 良い95%、まあ良い5% 良い91%、まあ良い9% 良い39%、まあ良い39%、普通16%、悪い6% 良い86%、まあ良い7%、普通7% 良い92%、まあ良い8% 良い100% 良い89%、まあ良い11%
	(1) 良好とする評価 〈歴史ロマン探訪の旅 全般〉 ・行く先々でゆっくり見学でき、分かりやすいガイドの説明もあり、歴史をより深く知ることができた。 〈キッズお菓子教室〉 ・班に大人がついて一緒にやってくれたので、安心して料理ができた。 〈笹ずしに挑戦！〉 ・色とりどりで秋っぽくよかった。秋の野菜がおいしかった。 〈けん玉楽習会〉 ・とても分かりやすく丁寧にけん玉のコツを教えていただいた。教え方ひとつで楽しみながらできるようになったので、教え方の大切さがよく分かった。 〈真田氏物語〉 ・長沼以外の地域の参加者を受け入れていただき、大変感謝している。 〈スイーツ楽習会〉 ・楽しくて時間がたつのを忘れるくらいだった。 〈すこやか子育て教室〉 ・毎回、工夫を凝らした内容で、親子共々楽しむことができた。	4
(2) 苦情・改善等の要望事項 なし		
《対応措置》		

事業収支 (単位：円)	指定管理者収支（平成28年度）				市の収支				評価
	年度計画額		収支実績額		平成28年度決算		平成27年度決算（前年度）		
	項目	金額	項目	金額	項目	金額	項目	金額	
収入	利用料金		利用料金		使用料	17,390	使用料	28,320	3
	指定管理料	10,240,000	指定管理料	10,877,000	雑（納付金）	675,068	雑（納付金）	722,495	
委託料		委託料		行政財産目的外使用料		行政財産目的外使用料			
販売収入等		販売収入等		その他		その他			
その他収入	164,000	その他収入	192,256						
計	10,404,000	計	11,069,256	計	692,458	計	750,815		
支出	人件費	7,394,600	人件費	7,601,221	指定管理料	10,877,000	指定管理料	10,240,000	
	設備管理費	166,000	設備管理費	163,152	委託料		委託料		
	備品購入費		備品購入費		需用費	631,528	需用費	803,326	
	修繕費	200,000	修繕費	119,016	役務費		役務費		
	光熱水費	1,080,000	光熱水費	856,203	使用料・賃借料		使用料・賃借料	33,663	
	事業費	450,000	事業費	680,091	修繕費		修繕費		
	事務経費	939,500	事務経費	1,221,074	工事請負費		工事請負費		
	本社経費		本社経費		備品購入費		備品購入費	292,680	
	その他	173,900	その他	409,900	その他		その他	19,600	
	計	10,404,000	計	11,050,657	計	11,508,528	計	11,389,269	
自主事業	収入		収入						
	支出		支出						
	自主事業損益	0	自主事業損益	0					
損益		0		18,599	差引	-10,816,070		-10,638,454	
人件費比率【人件費（賃金等）／平成28年度指定管理者事業支出】（支出に占める人件費の割合）								68.8%	
本社経費が、計画額と実績額で異なる理由									

5 管理運営全般 ※すべて「」で、「3」。「4」「5」とする場合は、評価理由欄に理由を記載してください。

区分	確認内容	チェック欄	評価
職員配置	1 施設管理運営に必要な人員が、適正で有効に配置されているか	<input checked="" type="checkbox"/>	3
	配置実績 (うち市内雇用職員数) 館長1人(1人) 社会教育主事資格、主事2人(2人) 内、1人保育士資格		
	2 専門性を備えた職員、有資格者が必要に応じて配置されているか		
	3 労働関係法令を遵守し、職員の適正な労働条件を確保しているか		
平等利用	4 職員の資質・能力向上を図り、施設を適切に運営するための取組みや研修がなされたか	<input checked="" type="checkbox"/>	3
	1 特定の団体や個人に偏らない、公平・公正な、透明性の高い運営がなされたか		
経理	2 使用許可、減免等の事務手続きが適切に行われたか	<input checked="" type="checkbox"/>	3
	1 施設の管理運営に係る収支の内容や、指定管理料、利用料金等の取扱いは適切に行われたか		
施設・備品の維持管理	2 収支内容等を記載した帳簿を整備しているか	<input checked="" type="checkbox"/>	3
	1 必要とされている保守、点検、清掃、保安、警備等、必要な維持管理業務が確実に実施されたか		
セルフモニタリング等	2 備品はI種、II種を明確にし、それぞれ台帳、目録等を整備の上、管理が適正に行われたか	<input checked="" type="checkbox"/>	3
	1 日常的、定期的に業務の点検、監視が行われたか		
	2 事業計画・報告書、予算書・決算書や、施設の利用状況などの定期報告、点検・検査結果報告などが遅滞なく提出されたか	<input checked="" type="checkbox"/>	3

区分	確認内容	チェック欄	評価
危機管理体制	安全対策	<input checked="" type="checkbox"/>	3
	1 危機管理マニュアルなどが整備されているか		
	2 危機管理マニュアルなどの内容が職員に周知されているか		
	3 常に、日常の事故防止などに注意を払っているか		
	個人情報保護	<input checked="" type="checkbox"/>	
	1 施設の利用者の個人情報を保護するための対策が適切であったか		
防犯、防災対策	1 防犯、防火などの対策、体制が適切であったか	<input checked="" type="checkbox"/>	
	2 防災訓練など、必要な訓練が実施されたか		
緊急時対応、体制	1 事故発生時や非常災害時の対応などが適切であったか	<input checked="" type="checkbox"/>	
	2 必要な保険に加入するなど、利用者などからの損害賠償請求への対応措置が講じられているか		

7 地域連携

地域連携	評価			
<p>地域の声を聞く体制や、協働で地域貢献ができる運営であったか。市内雇用や市内事業者から物品を購入する等、地域を活用した管理運営であったか。障害者就労施設等からの物品及び役務の調達に努めたか。</p>	4			
<table border="1"> <thead> <tr> <th>協定内容・指定管理者提案</th> <th>追加された内容、未実施の内容及びその理由</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>                     * 地域の課題を掘り起こし、地域に根差した講座・事業を多彩に開催した                      * 小学校との連携事業を拡大するとともに、信州型コミュニティスクール「りんごっこ支援の会」を立ち上げ、学習支援の充実強化を図った。                      * 障害者の生活を支援するため、地元の障害者就労施設から物品の購入や物品販売の場所を提供した。                 </td> <td>                     * 地元企業と連携して、協働事業を積極的に実施し、利用者の利便、増加を図った。                      * 地元レストランの一角に掲示板設けてもらい、長沼の歴史・文化、一茶等を紹介、合わせてガイドマップを置き、長沼のPRに努めた。                 </td> </tr> </tbody> </table>		協定内容・指定管理者提案	追加された内容、未実施の内容及びその理由	* 地域の課題を掘り起こし、地域に根差した講座・事業を多彩に開催した * 小学校との連携事業を拡大するとともに、信州型コミュニティスクール「りんごっこ支援の会」を立ち上げ、学習支援の充実強化を図った。 * 障害者の生活を支援するため、地元の障害者就労施設から物品の購入や物品販売の場所を提供した。
協定内容・指定管理者提案	追加された内容、未実施の内容及びその理由			
* 地域の課題を掘り起こし、地域に根差した講座・事業を多彩に開催した * 小学校との連携事業を拡大するとともに、信州型コミュニティスクール「りんごっこ支援の会」を立ち上げ、学習支援の充実強化を図った。 * 障害者の生活を支援するため、地元の障害者就労施設から物品の購入や物品販売の場所を提供した。	* 地元企業と連携して、協働事業を積極的に実施し、利用者の利便、増加を図った。 * 地元レストランの一角に掲示板設けてもらい、長沼の歴史・文化、一茶等を紹介、合わせてガイドマップを置き、長沼のPRに努めた。			

【総合評価】

評価項目	評価	得点	総合評価
指定管理者の健全性	3	6	<p>総合評価</p> <p>指定管理者の健全性</p> <p>施設の有効活用</p> <p>利用者評価</p> <p>事業収支</p> <p>管理運営全般</p> <p>危機管理体制</p> <p>地域連携</p> <p>----- 基準値</p>
施設の有効活用	4	16	
利用者評価	4	16	
事業収支	3	6	
管理運営全般	3	12	
危機管理体制	3	6	
地域連携	4	8	
<b>合計得点</b>			

評価理由

施設の有効活用は、昨年に引き続き多彩な自主事業の展開を図り、より多くの学びの機会を提供したことを評価し、「施設の有効活用」を「4」とした。  
 多くの事業を行う中で、アンケートについては良好とする意見が多く、講座参加者からも高い評価を受けており、苦情もないことから評価を「4」とした。  
 地域や地元企業との連携を図り、コスト削減等に努めるとともに、協働事業を積極的に取り入れたことを評価し、「地域連携」を「4」とした。  
 指定管理者の健全性、利用者評価、事業収支、管理運営全般、危機管理体制については、計画どおり運営されていた。

取組み・改善案等  
(施設所管課)

前年度からの課題

改善状況

改善案等 (改善されていない場合)

次年度の目標・取組み等  
(施設所管課)

\* ホームページを住民自治協議会と立ち上げ、公民館コーナーを開設する準備を進める。  
 \* 地元の食材や地元の自然を活かした地域を活性化する方策 (講座・イベント等開催) を、地元企業等と連携して研究を進める。  
 \* 学校と公民館の連携事業を強化し、長沼小学校「りんごっこ支援の会」の会員の増強を図り、さらに学習支援の輪を拡大する。

## 指定管理者自己評価

C

## (1) 今年度の取組みに対する評価

## ① サービス向上に向けての取組み

- \* 広報活動…公民館事業（講座・教室・イベント等）の案内は、公民館報（年2回）瓦版「ながぬま（ミニ広報紙）」を全戸配布し、周知徹底図り、区民の参画を呼び掛けた。また、ホームページ、ツイッターを利用し、地区外へも周知した。
- \* 広聴活動…公民館利用者、「ながぬま熟人ワーク応縁団（公民館支援ボランティア）」、「ろばた懇談会（利用者による私的諮問機関）」より、公民館管理運営について意見やアイデア・提言等を適宜出してもらい、迅速に公民館管理運営に反映した。また、クレーム等については、「すみやか業務改善運動処理簿」により、迅速に対応した。
- \* 情報発信活動…ミニ情報紙「熟人ワークながぬま」を随時発刊し、地域的话题・課題等をホームページ等に掲載して啓蒙啓発に努めた。メディア露出（パブリシティ）を積極的に活用して、全国的に情報宣伝活動を行った。（平成28年度年間で新聞・雑誌・テレビ等106回掲載・放送された）
- \* 人材活用…「自主企画提案制度」の導入、「出前講座」の実施によって地域の豊富な人材を活かすことで、社会教育、生涯学習活動の基盤が厚くなり、活動の場が広がり、「公民館力」「地域力」が向上した。
- \* コスト削減と還元…コスト削減にはさらなる取り組みを行い、節減した予算は利用者の利便性を考え、ハード事業では備品購入や施設の改修に充て、ソフト事業では郷土史資料などを作成、提供し、利用者に還元した。

## ② 業務の効率化に対する取組み

- \* 地元企業等との連携を一層密にし、公民館との協働事業を積極的に取り入れ、コスト削減や利用者の増加を図った。
- \* 地元企業が経営するレストランの一角に、掲示板を設けてもらい、長沼の歴史・一茶コーナーを開設し、一茶句碑めぐりマップなどを置き、PRに努めた。
- \* 公民館を支援するボランティアで組織する「ながぬま熟人ワーク応縁団」員を公民館事業運営に積極的に活用することにより、団員の出番づくり、やりがいづくりにつながっており、さらにコスト削減や事業の効率化に結びついた。
- \* クールビズ・ウォームビズ推進運動の一環として、長沼オリジナル（一茶の切り絵イラスト）のポロビズ・ジャンパー・トレーナー等を制作し、職員が着用し、さらに一般希望者に頒布することで、地域のPRと運動の意識の向上に努めた。

## ③ その他

- \* マスメディアにより、長沼公民館活動が全国的に紹介され、県内外から視察・見学者が大勢訪れ、地元リーダーたちと情報交換を行った。（藤沢市・米沢市・長野大学・高崎経済大学・住民自治協議会・市立公民館など7回）
- \* 他の社会教育施設（市立博物館・県立歴史館）の企画展事業に協力し、情報・資料を提供し、長沼のPRに努めた。
- \* 地元企業が経営する和菓子工房と協働し、新しい和菓子を商品化した。長沼を代表する、PRする銘菓『長沼古城まんじゅう（焼き菓子）』のネーミングとパッケージを公民館職員が提案し採用された。人気商品として長沼のPRに一役買っている。

## (2) 指定管理者業務実施上の課題

- \* 長沼地区は平坦地でありながら、地区全体が市街化調整区域のため、中山間地と同様に過疎化、少子高齢化が著しく、地元利用者が限られ貸館としての稼働率は横ばいとなっている。反面、講座・事業等への参加者は大きく増加している。今後、地元利用者や講座事業への参加者を増やすため、魅力ある自主事業の企画・実施するとともに、マスメディアやホームページ等を活用し、さらにPR力を高めていく。
- \* 従来蛍光灯照明器具の生産打ち切りに伴う、照明器具のLED化について早急に協議を進めていく。

## (3) 次年度以降の取組み

- \* 公民館活動のPRと利用促進を図るため、住民自協議会でホームページを立ち上げ、公民館コーナーを開設する準備を進めていく。
- \* 地元の食材や地元の自然を活かした地域を活性化する方策（講座・イベント等開催）を、地元企業等と連携して研究をさらに進めていく。
- \* 幻の長沼城の存在については復元図が作成され徐々に明らかになってきているが、さらにその存在を確かめるために、城の遺構の一部を発掘調査し、複合的な地域振興策を引き続き検討していく。
- \* 住民自治協議会と連携し、歴史文化遺産を活用した地域振興策「まちづくり計画」を策定していく。
- \* 学公（学校・公民館）連携事業を強化し、長沼小学校「りんごっこ支援の会」の会員の増強を図り、さらに学習支援の輪を拡大していく。
- \* 将来予想される市立公民館のコミュニティセンター化について研究を始める。

## 【指定管理者自己評価基準】

A：計画や目標を上回る、B：計画や目標をやや上回る、C：計画や目標どおり、D：計画や目標をやや下回る、E：計画や目標を下回る